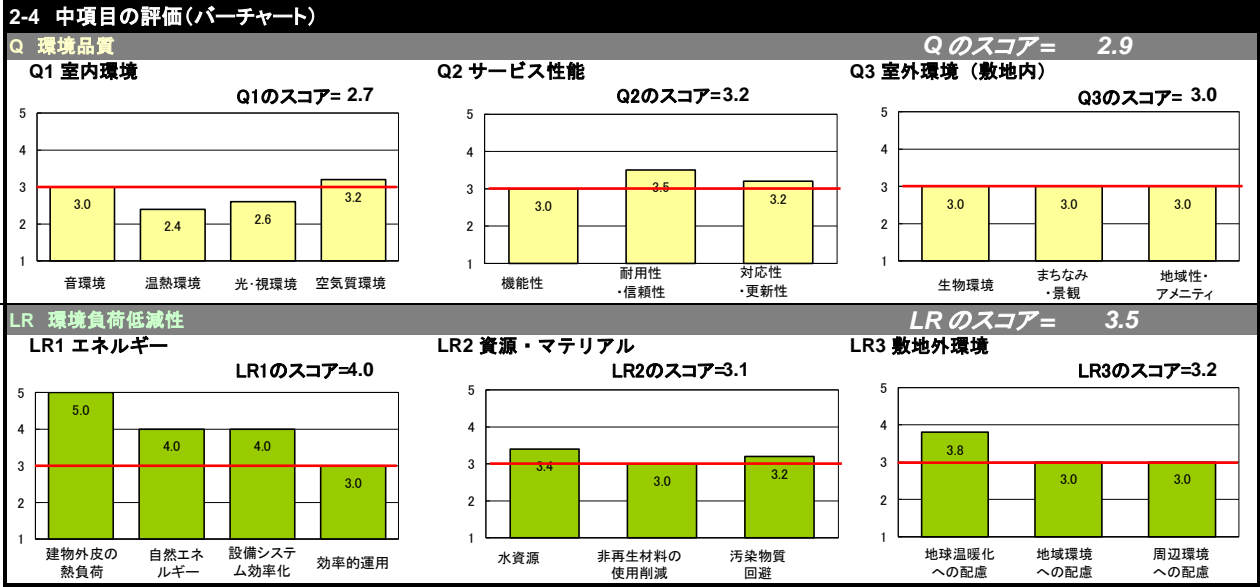
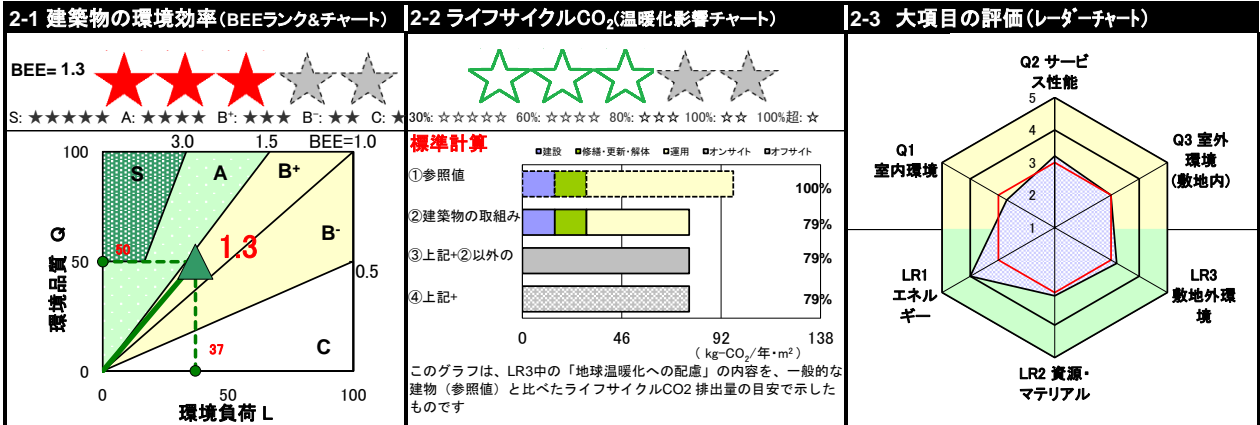


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事	階数	地上6F
建設地	基地: 藤沢市石川字中ノ塚2163-1ほか 仮換地: G2街区1画地 従前地: 藤沢市石川字中ノ塚2163-1ほか	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2019年8月2日
敷地面積	8,079 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社横河建築設計事務所
建築面積	2,905 m <sup>2</sup>	確認日	2019年8月5日
延床面積	6,679 m <sup>2</sup>	確認者	荏原環境プラント株式会社 一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>見学者が利用するエリアの居室等には、消費電力が少なく長寿命で省エネ効果の高いLED照明を採用している。生産エリアについては、自然光の取り入れを積極的に行うと共に、換気・空調設備の最適化を行うことで、消費電力の削減を行っている。</p>		<p>その他</p> <p>既存敷地内に築造されている、馬頭観音の保存を行った。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・F☆☆☆☆建材を全面的に採用、全館禁煙とするなど、空気環境に配慮している。</li> <li>・居室の一部に自然換気を採用し、一定の換気が行えるよう開口部を設置している。</li> </ul>	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産エリア、居住エリアともに、機能性・維持管理を考慮した仕上げとしている。</li> <li>・天井高、階高を高くし、快適性に配慮すると共に、空間にゆとりをもたせている。</li> </ul>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上緑化、壁面緑化を設置すると共に、緑化面積を外構面積の20%以上確保している。</li> </ul>
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。</li> </ul>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動水栓、節水コマ他、節水型便器などの省水型機器を採用している。</li> </ul>	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物内および外構の照明計画にあたり、敷地外へ光害が発生しないよう努めた。</li> <li>・広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される